

# 友愛委員会の一年を振り返って

友愛委員長 森 勇

友愛委員会は、地域に根付いている「配食サービス」、毎回参加者に楽しんで載っている「高齢者を囲む会」、また、8月に行っている「暑中お見舞い訪問活動」、そして、ふれあい交流会に出店している「友愛呈茶サービスコーナー」など、年間を通じて毎月色々な事業を行っています。

これらの事業は、新鶴沼台の「あゆみの会」、鶴沼台の「かすみ会」、山崎町の「沙羅の会」、東町の「あやめ会」の4つのボランティアの方々と、民生委員児童委員が構成メンバーとなっております。

特に、配食サービスは、高齢者世帯、身体障がい者、寝たきり介護者、および、一人暮らしの高齢者の方々を対象に手作り弁当を年間に8回宅配しており、毎食、皆様から「大変美味しい弁当を有り難う」と言う言葉を多く載っている事業であります。

また、多くの皆様の要望である配食回数の増加については、現在の事業内容を更に付加する事はマンパワー的に大変難しい状況であるため、次年度以降も現状維持が精一杯と考えております。

「高齢者を囲む会」では、加藤公さんが代表を務める「ブルー・ベレーズ」の皆様に来演して戴き、童謡・唄歌から流行歌まで幅広いジャンルの演奏と歌で参加者に心から楽しんで戴く事が出来ました。



特に、参加者の青春時代に流行った「青い山脈」「赤いリンゴ」などは全員の方が口ずさみ、若き日を思い出しておられる様子は本当に和やかであり、楽しい一日を過ごして貰えたものと思っております。



この囲む会は、各務原市社会福祉協議会の歳末助け合い配分資金事業の一環として助成を受けて行っている事業であり、今後ともこの事業が継続出来る事を願うものであります。

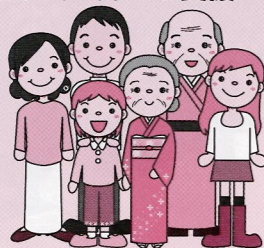
また、「ふれあい交流会」は、雨が降り肌寒い一日であたため友愛呈茶コーナーは大変淋しいコーナーとなってしまいましたが、与えられた責務は果たしたと考えている所であります。

今年は、介護保険、子育て支援などの社会福祉制度が大幅に改正され、各務原市の地域福祉計画の見直しが着手されており、福祉制度の基本的スタンスは自助・互助・共助・公助が明確化され、地域のボランティア活動の活性化、ふれあいと助け合いのある街作りに社会福祉協議会の役割が大きくなります。

友愛委員会も、社協鶴三支部の一委員会として自治会、近隣ケアなどの皆様と協働して「誰もが安心して住みやすい鶴三校区」を目指して役割を果たして参りたいと思います。

最後に、今年も支部長さんを始めボランティアの皆様など多くの方にご支援・ご協力を賜りました事に深く感謝を申し上げます。

有り難う御座いました。



鶴三支部のトレードマークです。



# ふれあい

第82号 平成26年3月15日  
編集・発行 各務原市社会福祉協議会  
鶴沼第三連合支部

社協のマークです



福祉の心を育てよう

## ご高齢者から幼児まですべての皆様へ

各務原市社会福祉協議会 鶴三連合支部長 原 洋一



支部長として殆んど何も出来ないまま、あと少しで終りを迎える事になりました。第1回の支部長会議で市内の他の地域の諸先輩方と懇親会で多々ご経験談を伺い余りにも問題点が多すぎて何から手をつけて良いか途方に暮れましたが、当面の活動等は諸先輩のお知恵に助けられ、更には鶴三地区の皆様にはご理解と協力をいただき乗り切ってくれました、誠にありがとうございました。

最大の行事であった「ふれあい運動会」については体振との共催がうまく捗らず結果的には「ふれあい交流会」として社協が主体となり企画をさせて頂きました。

緑陽中学校様と鶴沼第一幼稚園様及びそのご支援して頂いた皆様のご尽力と新企画で地元にて活動されている和太鼓「あすか」様のご協力をいただきまして当日の悪天候の中を足を運んで下さった地域の皆様には、楽しんで頂けたと思います。

加えて小規模ではありましたが模擬店も頑張って実施していただきました。更に午後には絵紙教室とパソコン教室も関係の皆様にご尽力いただき参加の方には楽しんで頂けた事と思います。改めて関係者の皆様に感謝いたします。

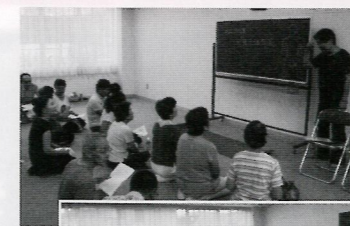
出来る限り地域の皆様のために、更には高齢者の方々にもいろいろな行事に参加して頂ける様に模索しましたが新しい企画を十分に実現出来ず、友愛委員会とボランティア近隣ケアグループの皆さんにおんぶしてしまいました。

市長と語る会では市全体に高齢化の問題が多面的に意見が出されています。少子化だけでなく独居高齢者や障害者の皆様にも常時交流出来る様な組織や行事等を充実して行くことが今後ますます必要になっていくと思います。

これからも社協を含め地域のために皆様の更なるご理解とご協力をお願いいたします。



## 社協鶴三連合総務委員長 神原 康男



平成 25 年度の社協鶴三連合会総務委員長を担当いたしまして、もうすぐ 1 年となります。前年度の総務委員長から引き継いだ時は、このような大役が務まるか心配しておりましたが、諸先輩、地区の方々のご協力を得まして、活動を進めることができました。

2 回開催しました「介護予防教室」では、参加された方々の健康維持・体力維持の啓発、参加者同士の交流を深めていただくことが出来たと思います。

「福祉座談会」では、県の防災課和田様から、近年の岐阜県の災害の発生状況、大規模地震発生時の対応、それに対して各自治会での対応、家庭・個人ですべきことのお話を頂き、自治会ごとの体制づくりの参考になったと考えています。

社協の活動に参加して、私たちの街（地域）で安心してしあわせに暮らし続けられることが出来るようにと、あらためて考えることの出来た 1 年でした。

今後も社協鶴三連合の活動にご理解・ご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。